平成30年度

市政モニターアンケート調査結果【 協働によるまちづくりについて 】



長 崎 市 市民協働推進室

1. 調査の目的

長崎市では、「長崎のまちはみんなでつくる」、「自分たちのまちは自分たちでよくする」という気持ちを共有し、参画と協働によるまちづくりを推進するための 事業に取り組んでいます。

今回、市民の皆さまの市民活動に対する関心度や参加状況、「協働」についての 認知度や理解度、また、どのような情報に関心があるのかなどを把握・分析し、 今後の事業の参考にすることを目的としています。

2. 調査の概要

調査期間: 平成31年1月16日 ~ 平成31年1月31日

送付数 : 230人(郵送モニター 189人 インターネットモニター 41人)

回答率 :82.6%(190人)

(郵送モニター 167人 インターネットモニター 23人)

3. 調査結果

市民活動に「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と答えたかたの割合は 4割を超え、また、関心がある理由としては「地域や社会を良くするため」と答え たかたが約7割という結果となりました。一方、市民活動に「参加していない」と 答えたかたが7割を超え、市民活動に対して関心はあるが、必ずしも参加はしていないということが分かります。参加をしていない理由は、「活動する時間がないから」と答えたかたが6割半ばを占める結果となり、仕事などで時間に余裕がないため市民活動の参加が難しい状況であることがうかがえます。次いで、「参加の仕方がわからないから」と答えたかたが4割を超え、今後、市民活動の周知や情報提供の強化が必要であると考えています。

また、協働という言葉を「知っていた」「聞いたことはあったが、内容はわからない」と答えたかたが4割と、認知度は、十分ではないことがわかりました。対して、今後、地域での困りごとを解決するためには、「協働」することが有効だと思う分野について、「保健・医療・福祉」67.8%、「子どもの健全育成」56.3%、「まちづくり」52.5%、「地域安全」51.4%と過半数を上回り、協働に対する関心・期待がうかがえる結果となりました。

その他、市民活動センター「ランタナ」を「知らない」と答えたかたは8割を超える結果となり、認知度は非常に低いということが分かりました。

今回の調査結果を参考に、今後とも市民の皆さまと協働によるまちづくりを進めるため、効果的な周知活動に努めるとともに、きっかけづくりや情報発信といった市民活動の参加促進に向けた取り組みを検討していきます。

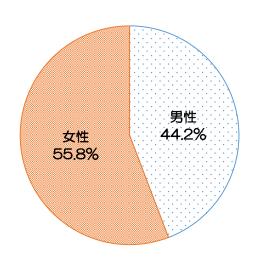
4. 調査結果の見方

調査結果の数字は、百分率で表記しているものがあり、百分率の値は、小数点以下第2位を四捨五入して、小数点第1位まで表記しています。そのため、内訳を合計しても100パーセントに合致しない場合があります。

また、複数回答可とした設問においては、合計が 100 パーセントを上回る場合 があります。

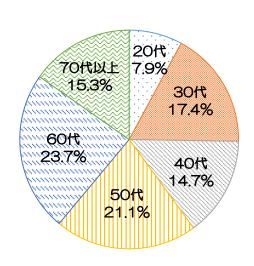
問1 あなたの性別をお答えください。

選択肢	回答者数	割合
男性	84 人	44.2%
女性	106人	55.8%
合計	190人	100.0%



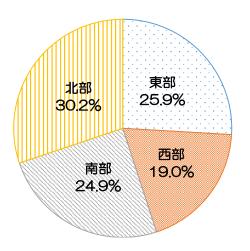
問2 あなたの年齢を選択してください。

選択肢	回答者数	割合
20代	15人	7.9%
30代	33人	17.4%
40代	28人	14.7%
50代	40人	21.1%
60代	45人	23.7%
70 代以上	29人	15.3%
合計	190人	100.0%



問3 お住まいの町名を教えてください。

選択肢	回答者数	割合
東部	49人	25.9%
西部	36人	19.0%
南部	47人	24.9%
北部	57人	30.2%
合計	189人	100.0%

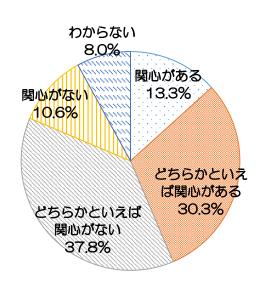


※ご記入いただいた町名をもとに、東西南北に分けて集計しています。 (無記入1人)

問4 市民活動に関心がありますか。

※このアンケートにおける「市民活動」とは、NPO 法人や任意のグループ など、営利を目的としない市民の自主的・主体的な公益的活動のことを指します。ただし、自治会や PTA などの地域活動は除きます。

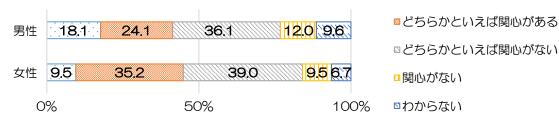
選択肢	回答者数	割合
関心がある	25人	13.3%
どちらかといえば関心	57人	30.3%
がある	517	30.376
どちらかといえば関心	71 人	37.8%
がない	717	37.070
関心がない	20人	10.6%
わからない	15人	8.0%
合計	188人	100.0%



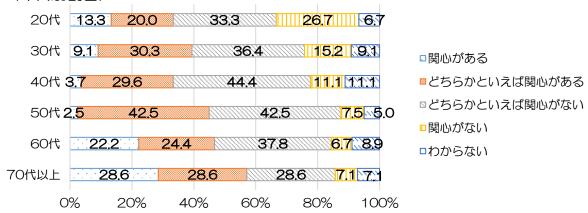
□関心がある

(無記入2人)

〈男女別割合〉



〈年代別割合〉



市民活動に「関心がある」と答えたかたの割合は 13.3%、「どちらかといえば関心がある」と答えたかたの割合は 30.3%と2つを合わせた『関心がある』と答えたかたの割合は 43.6%となっています。一方、「どちらかといえば関心がない」 37.8%、「関心がない」10.6%と、2つを合わせた『関心がない』と答えたかたの割合は 48.4%となっており、『関心がない』割合が『関心がある』割合を上回っています。

また、『関心がない』と答えたかたの割合は、若い世代ほど高くなっています。

問5 「問4」で「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と回答したかたに 質問です。市民活動に関心がある理由を3つまでお選びください。【複数回答可】

選 提時	選択肢の関係を表現している。	201 2001 4001 2001 2001	
运 水放	数	対する割合	0% 20% 40% 60% 80%
地域や社会を良くするため	54 人	69.2%	69.2%
困っている人を助けるため	36人	46.2%	46.2%
新しい経験を通じて自分の成長	34 人	43.6%	43.6%
につながるため	34 八	43.07	
市民も何らかの活動に参加すべ	25人	32.1%	32.1%
きと思うため	25 人	32.1%	25.6%
自分の経験や知識を生かすため	20人	25.6%	20.5%
余暇を有意義に過ごすため	16人	20.5%	16.7%
自分の健康づくりに役立つため	13人	16.7%	
自分自身や家族のため	13人	16.7%	16.7%
友人や仲間を得るため	10人	12.8%	12.8%
その他	2人	2.6%	2.6%

回答者数 78 人、有効回答数 223

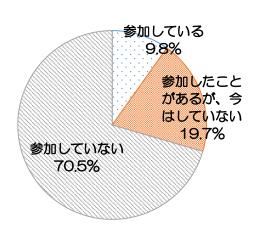
くその他回答>

- 家族が少年補導員の活動をしているため
- 現場視点で物事の解決に当たれる。地域を知らない人の意見は、現場との整合性に欠ける。

市民活動に「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と回答したかたのうち関心がある理由を「地域や社会を良くするため」と答えたかたは 69.2%と最も多く、次いで「困っている人を助けるため」が 46.2%、「新しい経験を通じて自分の成長につながるため」が 43.6%という結果となりました。

問6 市民活動に参加していますか。

選択肢	回答者数	割合
参加している	18人	9.8%
参加したことがあるが、	36人	19.7%
今はしていない	30 /	19.1%
参加していない	129人	70.5%
合計	183人	100.0%



□参加している

(無記入7人)

〈男女別割合〉

14.8

17.3

男性



67.9

市民活動に「参加している」と答えたかたの割合は 9.8%と1割に満たず、一方、「参加していない」と答えたかたの割合は 70.5%という結果となりました。

問5で市民活動に「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」の2つを合せた『関心がある』と答えたかたは4割以上いましたが、関心はあっても必ずしも参加はしていないことが分かりました。

問7 「問6」で「参加したことがあるが、今はしていない」「参加していない」と 回答したかたに質問です。

市民活動に参加していない理由を3つまでお選びください。【複数回答可】

		回答者数	
選択肢	回答者数	に対する	
		割合	10 20人 40人 60人 80人 100人 120人
活動する時間がないから	103人	64.0%	
参加の仕方がわからないから	69人	42.9%	
参加したいと思う活動がない	38人	23.6%	
から	30 X	23.07	
興味・関心がないから	34 人	21.1%	
体力や健康に自信がないから	30人	18.6%	■ 20代
人間関係がわずらわしいから	26人	16.1%	■ 3 0代
金銭的な負担がかかるから	17人	10.6%	■ 40代 ■ 50代
特にない	10人	6.2%	■ 60代
その他	9人	5.6%	■ 70代以上

回答者数 161 人、有効回答数 336

くその他回答>

- 近所づきあいがない
- どのようなグループや活動が存在するのか、いまひとつ分からないから
- 今何をやっているか分からないから
- 活動内容が十分分からない
- 引っ越したため
- 仕事で福祉をしているので、そこでやっている感じです。というか仕事で時間 がありません。
- ・ 青年部会がない
- 水彩画展には機会があれば出展している

どういう活動をしているのか情報がないのでわからない

市民活動に参加していない理由に「活動する時間がないから」と答えたかたの割合は64.0%を占めており、仕事などで時間に余裕がないため市民活動の参加が難しい状況であることがうかがえます。次いで、「参加の仕方がわからないから」が42.9%、「参加したいと思う活動がないから」が23.6%という結果となりました。

問8 「協働」という言葉を知っていましたか。

※「協働」とは、様々な地域課題の解決に、異なる組織が強い信頼関係の もと、それぞれの強みを発揮して、協力して取り組むことです。

選択肢	回答者数	割合
知っていた	31人	16.8%
聞いたことはあった が、内容はわからない	44 人	23.9%
知らなかった	109人	59.2%
合計	184人	99.9%

知らな かった 59.2% 聞いたことは あったが、内容 はわからない 23.9%

(無記入6人)

協働という言葉を「知っていた」と答えたかたの割合は 16.8%と2割に満たず、「聞いたことはあったが、内容はわからない」と答えたかたの割合は 23.9% となりました。協働に対する認知度は、あまり高くないことが分かりました。

問9 今後、地域での困りごとを解決するためには、どのような分野で「協働」することが有効だと思いますか。

有効だと思う分野を5つまでお選びください。【複数回答可】

		同なせまし]
選択肢	回答者数	回答者数に	00/ 000/ 400/ 600/ 000/
		対する割合	0% 20% 40% 60% 80%
保健•医療•福祉	124人	67.8%	67.8%
子どもの健全育成	103人	56.3%	56.3%
まちづくり	96人	52.5%	52.5%
地域安全	94人	51.4%	51.4%
災害救援	73人	39.9%	39.9%
環境保全	52人	28.4%	28.4%
学術・文化・芸術・スポーツ	36人	19.7%	19.7%
職業能力の開発・雇用機会の	0E 1	10.10/	
拡充	35人	19.1%	19.1%
社会教育	30人	16.4%	16.4%
観光	29人	15.8%	15.8%
経済活動の活性化	26人	14.2%	14.2%
市民活動団体の運営支援や協 働の促進	22人	12.0%	12.0%
人権・平和	20人	10.9%	
農山漁村•中山間地域振興	19人	10.4%	10.4%
消費者の保護	16人	8.7%	8.7%
男女共同参画	12人	6.6%	6.6%
情報化社会の発展	10人	5.5%	5.5%
国際協力	5人	2.7%	□ 2.7%
科学技術	1人	0.5%	0.5%
その他	3人	1.6%	1.6%
有効だと思わない	3人	1.6%	1.6%

回答者数 183 人、有効回答数 809

くその他回答>

- まわりの人との協力、助けあい
- ・ イノシシの活動抑制、人家、畑などの安全対策
- ・ 青年部の福祉活動の促進(町内)若い青年が町内行事に参加するしくみ 今後、地域での困りごとを解決するために「協働」することが有効だと思う分 野は、「保健・医療・福祉」と答えたかたが67.8%と最も多く、次に「子どもの 健全育成」56.3%、「まちづくり」52.5%、「地域安全」51.4%と続き、これら は過半数を上回る結果となりました。

問 10 現在、長崎市ではどのような分野の活動が協働によって活発に行われていると思いますか。 活発に行われていると思う分野を<u>5つまで</u>お選びください。【複数回答可】

選択肢	回答者数	回答者数に	
医1/11/12		対する割合	0% 20% 40% 60% 80%
観光	111人	61.3%	61.3%
まちづくり	77人	42.5%	42.5%
人権•平和	63人	34.8%	34.8%
保健•医療•福祉	56人	30.9%	30.9%
学術・文化・芸術・スポーツ	39人	21.5%	21.5%
活発だと思わない	38人	21.0%	21.0%
子どもの健全育成	31人	17.1%	
地域安全	30人	16.6%	17.1%
災害救援	26人	14.4%	16.6%
環境保全	22人	12.2%	14.4%
国際協力	22人	12.2%	12.2%
経済活動の活性化	14人	7.7%	12.2%
職業能力の開発・雇用機会の 拡充	13人	7.2%	7.7%
男女共同参画	12人	6.2%	6.2%
社会教育	11人	6.1%	6.1%
農山漁村•中山間地域振興	9人	5.0%	
市民活動団体の運営支援や協働の促進	8人	4.4%	5.0% 4.4%
情報化社会の発展	2人	1.1%	1.1%
科学技術	1人	0.6%	0.6%
消費者の保護	1人	0.6%	0.6%
その他	5人	2.8%	2.8%

回答者数 181 人、有効回答数 591

くその他回答>

- 分からない
- ・ 活動の内容(どこで何をやっているのか)知らないので。

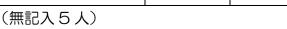
現在、長崎市で協働によって活発に活動が行われていると思う分野を「観光」 と答えたかたは61.3%と非常に多く、次いで「まちづくり」42.5%、「人権・平和」34.8%と続きます。

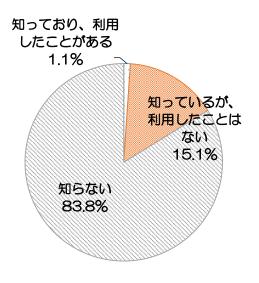
問9で「協働」することが有効だと思う分野で最も多かった「保健・医療・福祉」は、30.9%という結果となりました。

問 11 市民活動センター「ランタナ」を知っていますか、また利用したことがあ りますか。

※市民活動センター「ランタナ」とは、市内に活動拠点を置く様々な分野の市民活動・ボランティアなどを行っている方や、これから活動をしようと考えている方の交流拠点として開放している施設です。(所在地:長崎市馬町 21-1)

選択肢	回答者数	割合
知っており、 利用したことがある	2人	1.1%
知っているが 、 利用したことはない	28人	15.1%
知らない	155人	83.8%
合計	185人	100.0%





市民活動センター「ランタナ」を「知っており、利用したことがある」と答えたかたは 1.1%(2人)、「知っているが、利用したことはない」と答えたかたも 15.1%(28人)にとどまり、認知度が非常に低いことが分かりました。

問 12 市民活動に関係するどのような情報に、興味・関心がありますか。 興味・関心がある情報を3つまでお選びください。【複数回答可】

選択肢	回答者数	回答者数に	
237127		対する割合	0% 20% 40%
自治会などの地域団体の活動	58人	31.4%	31.4%
市民活動団体の活動	57人	30.8%	00.000
協働事例の情報	40人	21.6%	30.8%
補助金等各種支援情報	40人	21.6%	21.6%
教育機関の地域貢献事業	39人	21.1%	21.6%
地域の人材に関する情報(協	32人	17.3%	21.1%
力者、参加等)	32 八	17.5%	21.170
成功事例の取り組みプロセ	32人	17.3%	17.3%
ス・苦労話	32 八	17.5%	17.3%
市民活動のノウハウ	31人	16.8%	168%
活動場所の情報(空き店舗、	29人	15.70/	16.8%
イベントスペース等)	29 人	15.7%	15.7%
特にない	29人	15.7%	15.7%
市民活動に関する専門家の情	24.1	12.00/	10.00
報	24 人	13.0%	13.0%
企業の公益的事業	15人	8.1%	8.1%
その他	3人	1.6%	□ 1.6%

回答者数 185 人、有効回答数 429

くその他回答>

- ・ ノラ猫、街猫の避妊、不妊、捨て猫〇に
- ・ 先進地方・地域の取組事例の広報・研究
- 興味、関心はありますが、年齢的に行動まで行かない

市民活動に関係する興味・関心がある情報について「自治会などの地域団体の活動」と答えたかたは31.4%、次いで「市民活動団体の活動」30.8%と3割を超える結果となりました。

問 13 市民活動や協働についてご意見などがあればご自由にお書きください。

〇市民活動についてのご意見

- 活動に参加しようとする時、何から始めればいいですか?
- 現在、就業している為、そういう活動に参加、協力が出来ないが、先の事を考える 中で、常々、関心を持って情報は持っていきたいと思っています。
- 実際のところ、興味、関心がないと活動したり取り組むことはできないと思うので、時間とゆとりがないとできないことだと思ってしまいます。
- 市民活動に関する情報を、ネットなどを使い取得しようと思っています。いざ活動となると、仕事の関係から「日曜日」のみとなりますが、地域社会のお役に立てるのであれば、今後検討したいと思います。
- どの様な人達がどんな活動をしているのか知りたい。
- 場所が遠い事がある。駐車場がない事がある。
- どんな活動をするにしても強制的だったり、力を入れすぎたりする人がいて、参加 しづらくなり嫌になる事が多いです。熱心にされるのはわかりますが、人間関係に ついて風通しが良くなればと思います。市役所はそういった事のアドバイスはされ ないのでしょうか?
- 皆が空いている時間に、好きなときに参加できる団体だといいと思います。一度参加したら、その後半、強制的になる団体もあり…
- 活発化すべきだと思う。一方でそれらを担う人が外部(長崎外)から来た方が良いと思うので住みたい、住んでみたいと思えるような街になるよう行政に期待したい。外部の人が良いのは、新しいアイデアの創出や、外から見た長崎の良いところに気づいて貰いやすいと思うため。

〇協働についてのご意見

- 協働、ランタナ、言葉は聞いたり見たりしていますが、内容は理解していません。 これからは、広報誌などもっと注意して読もうと思いました。
- 協働と内容を詳細に知らなかったことをくやしく申し訳なく思います。

〇情報の発信についてのご意見

- ・ 情報等が少なく、理解、判断が難しい
- 活動の内容を公報で PR して下さい。 主催者 内容 時等々
- 市民に呼びかけ、人材、人数を掘りおこす
- もっと広報活動が必要だと思います。
- 情報の発信力が弱い

- 市民活動をよく知らない
- 具体的な活動について聞いたことがありません。広報活動を強化してもらい具体的 な活動状況を知りたいし参加するための手続き等を知りたいと思います。
- 若い世代(20代~30代)を協働に参加できるような具体的な情報をもっと発信していくべき。長崎市がなにをどうしているのか若い世代は知らないので。
- 活動に関する支援の仕組みの周知が不足している。

〇自治会等の地域活動に関するご意見

- 自治会活動には興味を持って接していますが、本来任意の団体、つまり有志の人達が集まって地域のために活動するというものなのに、参加(加入)していない人々への敵意や悔蔑が多く存在するように思います。また、結局のところ嫌々ながらの活動(役回りの押付けなど)となっている実態もあります。そのような状況の中でも地域のために活動している内容については、多くの人々に認識してもらえていないようにも思います。行政が自治会活動を勧めることは理解できますが、自治会加入者と未加入者との溝が深まり、対立関係となることがないように手引することも必要なのではないでしょうか
- 自治会に加入しない家庭が多い。加入するメリットが感じられないのでは。忙しい 家庭が多いので自治会に加入することで役員などの負担がかかっている。
- 自治会の活動でさえ、まともに参加しておらず申し訳ないことですが、自治会と別にこうやって活動されているのだと知りました。今後、機会を得て学びたいとも思います。
- 自治会を通して身近に参加出来ることがあれば参加してみたいとは思っているのですが!

○その他の活動に関するご意見

- 観光への活動は上昇の一途であるが美観が悪すぎる。稲佐山道路付近の雑草など不備、ロープウェイ付近の暗さ、清掃が出来ていない。町なみも樹木ものびっぱなしが多い。自治会の協力、市民で力を合わせてできるはず。
- 外国人観光客のボランティアガイドは英語・中国語・韓国語が主流ですが、スペイン語圏の観光客も多く来崎されているのでスペイン語のガイドさんを養成されたら如何でしょうか。市主催のスペイン語講座を開催したら多くの方々が参加されると思います。
- こども食堂に関心がありました。時間的に余裕がなかったので協力は難しかったです。活動内容について市報などで知らせてもらえればと思います。
- 核、原爆、廃絶にもっともっと広がったらいいと思います

- 原爆、平和に関する活動が多いようで、これが反政府的、政治活動に利用されているようで、積極的参加になれない。
- ・ 平和活動はやり過ぎ。
- ・ 市の中心部への偏重取組みだけではなく、周辺地域の整備と市民意見の集約・市民 減少に歯止めをかける活動の強化・市民の生活居住地域の道路整備と災害発生リス クが大きい個所の整備

○その他のご意見

- 興味は有りません
- ほぼ認識していません。市民のほとんどの人が同じかと想像します。
- 特になし(6件)